地域の活力を支える道づくり
～進む道路網の整備～

高規格幹線道路　西九州自動車道（調川IC付近）

規格の高い道路の整備

「産業に活力」、「暮らしに潤い」をもたらすためには、企業立地や物流の効率化、観光振興などを促進し、交流と賑わいのある地域づくりを推進することが必要です。

このため、県内外の主要都市間の移動時間短縮や定時性の確保による地域間の交流促進や連携強化を図る規格の高い道路(高規格幹線道路や地域高規格道路)を重点的に整備しています。

規格の高い道路とは、一般道に比べて安全性や高速性が高い「高速交通ネットワークを形成する道路」のことばい！

高規格幹線道路

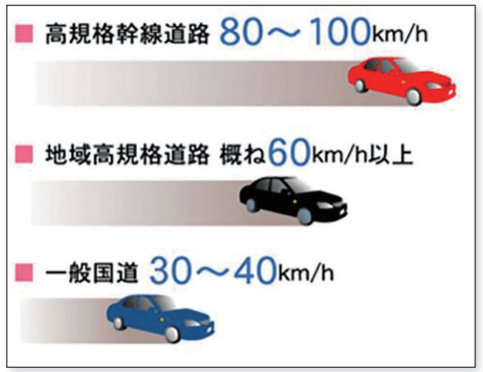
全国的な自動車高速交通網を形成する自動車専用道路のことで、平均80km/h程度の高速走行ができます。高速自動車国道、本州四国連絡道路、一般国道の自動車専用道路などで構成されています。

地域高規格道路

概ね60km/h以上の速度で走行できる規格の高い道路のことです。高規格幹線道路と一体となって人々の交流を活性化したり、地域間の連携を強化したりする役割を担っています。

県内には、島原道路（P5）のほか、西彼杵道路（P6）、長崎南環状線などがあります。

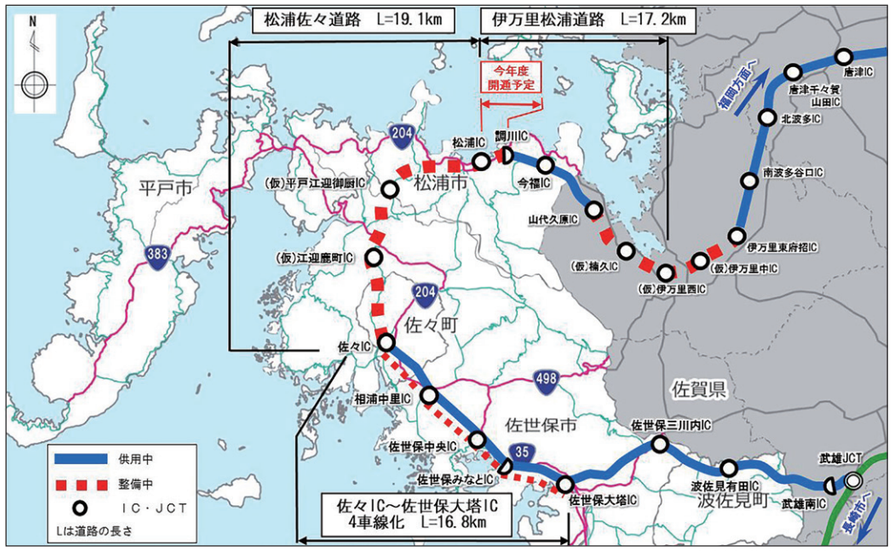
道路のサービス速度（実際の走行速度）



高規格幹線道路「西九州自動車道」

現在、県北地域では国や西日本高速道路株式会社による西九州自動車道の整備が進められています。

完成すると、平戸市から福岡市までの所要時間が約160分から約90分へと大幅に短縮される予定で、観光振興や地場産業振興、企業誘致など、地域の活性化につながるものと期待されます。

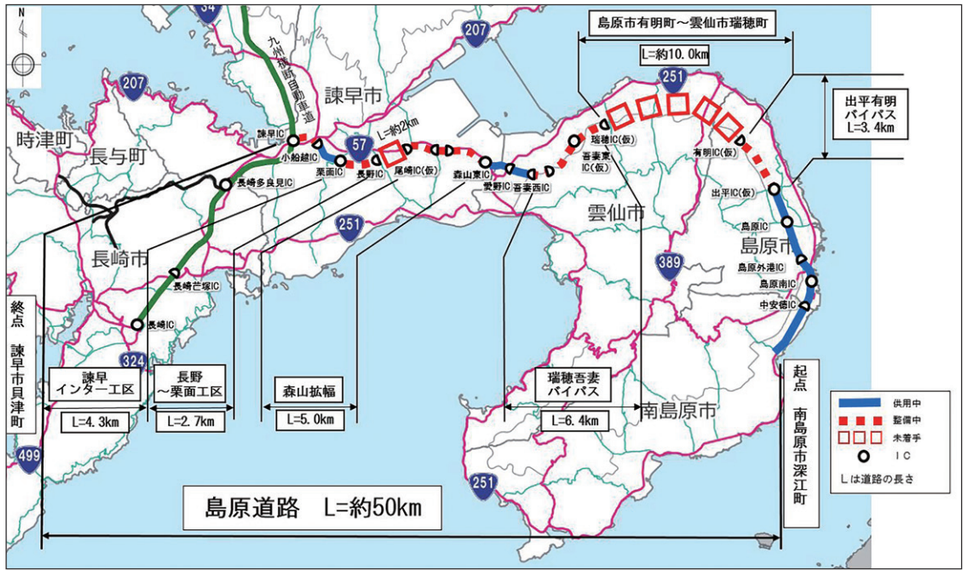


西九州自動車道の整備状況

地域高規格道路「島原道路」

現在、南島原市深江町と諫早インター間を結ぶ島原道路の整備を県と国で進めています。

長さ約50kmの自動車専用道路で、完成すると所要時間が約90分から約40分へと大幅に短縮される予定です。



島原道路の整備状況

次のページで、現在整備中の他の道路を紹介しますよ～！